

# 103-288

## 問題文

68歳男性。体重60kg。高血圧症及び便秘のため下記の処方薬を服用していた。患者は日中に町内会の夏祭りの準備をしており、水分摂取を忘れるほど夢中に作業をしたところ、体調不良となり救急搬送された。

救急搬送時の体温は38.5℃。血液検査で、血清クレアチニン値が前回受診時の0.8mg/dLから2.5mg/dLへと上昇しており、急性腎不全の診断となった。

(処方1)

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| エナラプリルマレイン酸塩錠 10 mg | 1回 1錠 (1日 1錠)   |
| トリクロルメチアジド錠 2 mg    | 1回 1錠 (1日 1錠)   |
|                     | 1日 1回 朝食後 30 日分 |

(処方2)

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 酸化マグネシウム錠 330 mg | 1回 2錠 (1日 6錠)     |
|                  | 1日 3回 朝昼夕食後 14 日分 |

## 問288

この患者の薬学的管理に関する提案のうち、適切でないのはどれか。2つ選べ。

1. ロキソプロフェンナトリウム水和物錠の投与
2. 酸化マグネシウム錠の中止
3. エナラプリルマレイン酸塩錠の中止
4. トリクロルメチアジド錠の中止
5. レボフロキサシン水和物錠の投与

## 問289

急性腎不全の病態と治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 不可逆的に腎機能が低下する。
2. 低カリウム血症が起こる。
3. 腎前性の場合は尿中ナトリウム低値を伴う乏尿が起こる。
4. ビタミンD活性化障害により腎性貧血が認められる。
5. 脱水は急性腎不全の危険因子である。

---

## 解答

問288 : 1, 5問289 : 3, 5

## 解説

### 問288

血中クレアチニン値が高い ということは、クレアチニンの排出経路である 腎機能が悪くなっていることを示唆します。

選択肢 1 ですが

ロキソプロフェンは NSAIDs の一種です。NSAIDs は腎血流を減少させ、腎機能を弱める方向に作用します。そのため急性腎不全の患者への使用は 適切ではありません。

選択肢 2 ですが

高マグネシウム血症のおそれがあるため中止します。適切です。

選択肢 3 ですが

エナラプリルはプロドラッグで 代謝物が活性を示す薬物です。 腎不全時はこの代謝物の濃度上昇による、 過剰な降圧 及び 腎機能悪化を避けるため 中止が適切です。

選択肢 4 ですが

トリクロルメチアジドは利尿薬の一種です。 腎機能のさらなる悪化を避けるために 中止が適切です。

選択肢 5 ですが

レボフロキサシンはニューキノロン系抗菌薬です。 感染を疑う理由が本問では見当たりません。 よって適切ではないと考えられます。

以上より、問288 の正解は 1,5 です。

#### 問289

選択肢 1 ですが

一般に、急性腎不全は可逆的、 慢性腎不全は非可逆的 です。 よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

急性腎不全においては 「高」K血症が起きます。 低 K 血症ではありません。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。

「腎前性」とは「ネフロン以前」ということです。 「腎臓へ流れ込む血流が そもそも少なくなっている」等による 腎不全のことです。

選択肢 4 ですが

ビタミンD 活性化障害で起きるのは、 低 Ca 血症です。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。

脱水→腎血流低下→急性腎不全 という流れです。

以上より、問289 の正解は 3,5 です。